R3実施　アントレプレナーシップ教育実践プログラム開発研究

大学

永田　忠道

広島大学
大学院人間社会科学研究科　准教授

市担当課

×

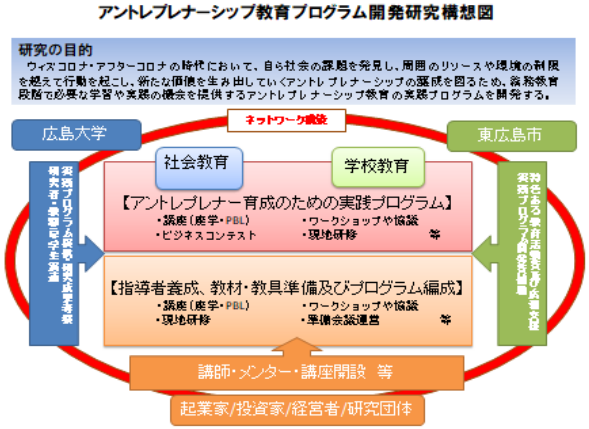
教育委員会
学校教育部指導課

1 課題

東広島市の児童生徒に十分なアントレプレナーシップ教育機会の提供が出来ていない。実践的なプログラムを実施する体制整備と、より質の高い教育を実施するための教員や職員の育成・成長が必要。

2 概要

ドリームマップをツールとして活用した、義務教育段階で必要な学習や実践の機会を提供するアントレプレナーシップ教育の実践プログラムの開発を目指す。



▲アントレプレナーシップ教育プログラム開発研究構想図

▲ドリームマップ
⇒義務教育段階で必要な学習や実践の機会を提供するアントレプレナーシップ教育

3 研究成果　手法等の構築

①教材教具作成、教育課程編成、授業検討等の開発研究を進め、その成果を冊子化及びデジタル化した。
②人材バンクの創出、異校種・企業等の連携システム構築等、自ら社会の課題を発見し、行動を起こし、新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップ教育を実践するためのネットワークを構築した。
③ドリームマップをツールとして活用した研修会の実施、研修プログラムの開発等、自ら社会の課題を発見し、周囲のリソースや環境の制限を越えて行動を起こし、新たな価値を生み出していくアントレプレナーシップ教育の指導者・支援者の育成を進めることができた。

4 今後の展望・現状　担当課で事業実施

開発したプログラムは、広島県教育委員会「探究的な学習の在り方に関する研究推進地域事業」指定校兼東広島市教育推進指定校として継続実施した。本研究の成果を発展させるとともに、実践発表やHPでの公開などを通して市内外の学校に広く発信した。